

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	スーパー（総務担当）	・客単価がやや上昇している。生鮮食品の売上増加がみられる。
		住関連専門店（店員）	・年末商材に関わる領域が上向きなので、店全体の売上は増加してくる。家庭用品に関しては、しばらく低迷しそうである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・個人の利用予約が好調である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会、宿泊、会議いずれも順調に予約が入ってきている。
		旅行代理店（従業員）	・規模は大きくないが、団体ツアーの予約が入っており、個人旅行も悪くない。
		タクシー（営業担当）	・新事業により、客数が徐々に増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	・商店街や当社の来客数など全体的にみて、変化の兆しは見受けられない。
		商店街（代表者）	・客の必要最小限しか買物しない傾向は続く。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・花のギフト商品は比較的安価な商品もあるので、まだまだ伸びる可能性がある。しかし単価の伸びは期待が薄い。
		百貨店（売場主任）	・七五三など年中行事を行う家庭は少なくなっており、行っても着物をレンタルするなど、百貨店の商品購入に結びつかない。
		百貨店（企画担当）	・客単価の低下は依然として続いている。ボーナスの増加も期待できないため、この先も同じ様な状況が続く。
		百貨店（企画担当）	・海外高級ブランドまで買い控えされており、影響が長引く。
		百貨店（経理担当）	・法人の売上を中心に低い水準である。来客数もやや少ない。
		百貨店（販売促進担当）	・客単価の下落傾向は続く。 ・シーズン始めの販売量の少なさが、秋冬商材の動きにそのまま引き継がれる。
		スーパー（経営者）	・チラシ合戦で、競争環境の厳しさは続く。
		スーパー（店長）	・売上はますますだが、客の低価格志向と衝動買いしない態度は今後も続く。
		スーパー（店員）	・夏にオープンした競合店に客を取られているため、今後もその影響が出る。
		スーパー（店員）	・野菜や鮮魚類の売上が減少してきているが、対前年比で見るとそれほどでもない。
		スーパー（仕入担当）	・来客数は対前年比で4%増加しているが、良くなるほどの勢いはない。
		コンビニ（エリア担当）	・売上の回復スピードは鈍化しており、前年割れ状態は今後も続く。
		衣料品専門店（企画担当）	・衣料に対する支出金額は変わらず、売上を伸ばすトレンド商品もない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車が出たことで、ここ2、3か月は上向きに販売量は推移する。しかし中古車は在庫がダブっている。
		乗用車販売店（従業員）	・ボーナス時期だがあまり動きがない。しかし維持費の安い小型車には人気があり、全体的には前年並みで推移する。
		その他小売〔総合衣料〕（店員）	・消費低迷が続き販売量が伸びない。
		高級レストラン（経営者）	・予約状況を見ると好調であるが、低単価であるため、前年売上を確保するためには来客数を倍増しなければならない。
		スナック（経営者）	・ボーナスが減るため忘年会もあまり来られないと客から言われている。
		スナック（経営者）	・ボーナス時期になるが、忘年会の回数も単価も低下傾向にあり、売上が増加するとは思えない。
観光型ホテル（スタッフ）	・予約客は微増であるが、割安なコースが多く選ばれている。		
ゴルフ場（経営者）	・予約は若干のマイナスであり、この傾向は当分続く。		
パチンコ店（店長）	・来客数の減少は一時的なものであり、新基準のパチンコ機の導入により、増加までは見込めないが客離れは抑えられる。		
美容室（経営者）	・客の財布のひもは固く、無駄なことにお金を使わない傾向が続いている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔パチンコ機器製造販売〕（エリア担当）	・パチンコ台の新しいタイプが出たが、評判は今ひとつである。
		住宅販売会社（従業員）	・賃貸マンション、アパート等の建設受注が増加している反面、戸建受注が減少している。ただし、リフォーム受注は堅調である。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・見積りなどの問い合わせが多数あるため、現状を維持する。
	やや悪くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・歳暮の減少が続いているが、今年は例年以上に買い控えられることが客の話からうかがえる。
		百貨店（企画担当）	・今年の冬はヒット商品がなく、冬のニットが秋口に店頭に出ていたこともあり、冬本番に売るアイテムが不足している。このまま売上の悪い状態でセールに入る。
		百貨店（販売促進担当）	・1月は福袋などで好調にスタートするが、クリアランスは前年を下回ると予想している。月末になるとさらに低迷する。
		コンビニ（エリア担当）	・スーパーの時間延長、24時間化、競合店の新規出店により、上向き要素が乏しい。
		コンビニ（エリア担当）	・競合店の影響が響き、単価の下落傾向はこれからも続く。
		コンビニ（店長）	・売上、来客数ともに対前年比で1割近くも下回り、消費の冷え込みを肌で感じている。少しでも安いところへと客は流れている。
		住関連専門店（店員）	・必要な物しか買わない傾向が一段と強くなっている。
		美容室（経営者）	・客との会話の中で良い話が聞かれない。美容に対する出費は最小限に抑えられるため、美容室の売上も伸びない。
	悪くなる	住宅販売会社（従業員）	・社員の給料カットは家の購入資金を差し控える人の数を増やすため、リストラと比べても住宅販売量を減少させる。
		商店街（代表者）	・商店街を歩いている人は、商品を見ているだけの状態である。
		コンビニ（エリア担当）	・閉店予定が増えてきている。
コンビニ（店長）		・近隣に競合チェーンが出店してくる。	
高級レストラン（スタッフ）		・忘年会の予約を受け付けているが、昨年よりも単価を下げている客がほとんどである。	
旅行代理店（従業員）		・東南アジアの治安が悪くなっているため、海外旅行を控える客が増加する。	
設計事務所（経営者）		・予定していた仕事が出ていない。	
設計事務所（経営者）		・設計案件数が減少しており、設計単価もかなり厳しい。	
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（総務担当）	・新しい部門が稼働し始め、それに対する受注が今までと違った形で入ってくる。
	変わらない	食料品製造業（企画担当）	・原材料価格が少しずつ値上がり傾向になっているが、価格に転嫁できない現状では企業収益の圧迫が懸念される。
		金属製品製造業（従業員）	・設備投資に期待できない。
		一般機械器具製造業（販売担当）	・業種間で仕事量にバラツキがある。
		電気機械器具製造業（従業員）	・引き合い件数は相変わらず増加しているものの、受注確率が非常に低くなっている。
		建設業（企画担当）	・製造業の中国シフトが続いており、部品供給する側も中国進出を求められている。
		建設業（企画担当）	・中部国際空港と愛知万博の関連工事は増えるが、その他の新規大型工事は期待できない。
	やや悪くなる	広告代理店（制作担当）	・顧客からの値引き交渉が多いが、同じ事を取引先に求めるといった悪循環が当分続く。
		金属製品製造業（社員）	・東京の再開発関連等で特需があった反動で、仕事量が減る。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・ユーザーは、小さい物に対しては積極的であるが大きい物には消極的である。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・金融情勢に一段と不透明感を感じており、企業の設備投資が抑えられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（経営者）	・1年近く横ばい状態が続いているが、海外移管される部門がまだ残っているため、若干悪くなる。
		輸送業（従業員）	・中東を中心に原油価格の値上げが懸念される。
		輸送業（エリア担当）	・米国の港湾ストライキも終わり、反動で在庫がだぶつき、貨物の動きは従来より低下する。
	悪くなる	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画） 公認会計士	・引き続き単価が下落する。 ・引き合いも、徐々に減少傾向にある。 ・財務内容が限界に来ている中小企業が多い。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・今期、来期中に事業拡大を目指している企業の一部が増えている。また、積極的に人材募集する企業も増えてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・輸送用機械メーカーの期間従業員、看護師、運送会社の運転手、住宅会社の営業社員、製造業の技術者等様々な業種で求人広告が増えてきている。 ・パートやアルバイトの求人広告も下げ止まっており、むしろ少しずつ上昇しつつある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・建設関係の求人件数が、小行数ながらも徐々に増加しつつある。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・これまで順調に増加していたアルバイト、パートの求人の伸びが鈍化している。
		職業安定所（所長） 職業安定所（職員）	・求人数、求職者数の動きは、まだ一進一退の状況が続く。 ・倒産、リストラは産業を問わず発生しており、一般機械器具製造業や電気機械製造業でも大量人員整理が予定されている。一方で輸出が好調で生産が増加する等、製造業の一部で持ち直しもみられ、雇用環境は当分横ばいで推移する。
		学校〔大学〕（就職担当）	・4月以降の求人件数は前年比でやや増であるが、ここ3か月は昨年より20%減である。
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣に入札を導入する動きが出てきており、派遣会社間の競争が激化している。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・年内の仕事量は変わらないが、値下げが続いているため利益の確保が難しくなっている。
		職業安定所（職員）	・9月の終盤から業種を問わず、企業整理の増加傾向がみられる。
	悪くなる		